

# 平成27年度 学力向上特配を活用した教科担当制の取組

太田市立沢野中央小学校

## 1 学校の概要

- ・児童数 402名（5月1日現在）
- ・学級数 16学級  
1、2年：3学級、3～6年：2学級、特別支援学級：2学級
- ・教職員数 県費27名（校長、教頭、教諭22、養護教諭、事務職員、栄養職員）

## 2 教科担当制の実施学年・教科等

3年の一部の教科、及び4～6年で専科や教科の専門による教科担当制を取り入れる。

- ・専科 国語・算数専科、理科専科、音楽専科
- ・教科担当 教師の専門性を生かした教科等の担当  
(社会、理科、体育、図工、家庭、外国語活動)

教科等 学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	外国語活動
3年	学級担任	学級担任	学級担任	理科専科 学級担任		音楽専科	学級担任		教科担当	学級担任	学級担任	
4年	学級担任	教科担当	算数専科 学級担任	教科担当		音楽専科	学級担任		教科担当	学級担任	学級担任	
5年	国語専科	教科担当	算数専科 学級担任	理科専科		音楽専科	学級担任	教科担当	教科担当	学級担任	学級担任	教科担当
6年	教科担当	教科担当	教科担当 学級担任	理科専科		音楽専科	学級担任	教科担当	教科担当	学級担任	学級担任	教科担当

\* 4, 5, 6年算数は、少人数指導、3年理科は、TTを実施

## 3 教科担当制による期待される効果

### ○主体的に考える児童の育成

- ・教師の専門性を生かした授業を実施し、責任ある指導体制を確立する。
- ・習熟の早い児童に発展的な学習を提供し学力を伸ばす。
- ・理科における実験・観察を充実させ、自然や科学への興味関心を高める授業づくりを推進する。

### ○好ましい人間関係を築ける児童の育成

- ・複数の教師が児童と関わり情報交換を密に行うことにより児童理解をより深め、児童のよさや多様性を伸ばす。
- ・複数の教師との出会いが、児童の将来への夢や希望、あこがれを抱くことにつながられるようにする。
- ・専門性を生かした授業実践で確かな学力を身に付けさせ、児童に自信をもたせることにより、好ましい人間関係を築く基盤づくりとする。

○ねばり強さや根気強さを身に付け失敗に屈しない児童の育成

- ・教師の専門性を生かして授業の質を高め、児童に達成感や成就感を味わわせることにより、児童の学習意欲や知識欲を一層高める。

○組織的に授業改善に取り組む体制づくり

- ・教科指導を通して児童のよさや変容、授業づくりや指導方法について、日常的に情報交換できる協働体制を構築する。

#### 4 教科担当制実施による成果

○学校評価（保護者、児童アンケート）より

- ・保護者の92%が、「教科担当制についてよい取組である」と肯定的な回答をしている。
- ・児童の93%が、「専門の先生に教わることにより授業よく分かる」と回答している。

○教職員の学校経営評価より

- ・分かりやすい授業を実践でき、学年に共通した指導で教えることへの責任が明確になる。
- ・教材研究の時間が確保でき、先を見通した授業計画や教材準備が効率的にできる。
- ・教科担当と学級担任との連携して指導できる。（困ったことが相談でき、一人で悩まずにすむ）
- ・技能系の教科は効果的である。
- ・様々な教師の指導により、多用な指導方法や人間性、考え方に触れられる。
- ・学ぶ楽しさ喜びが効果的に児童に伝わり、学習意欲の向上につながっている。
- ・複数の教師が児童に関わり様々な目を通して指導していくことは大切であり、児童のよさが引き出せる。

○全国学力・学習状況学力調査より

（児童質問紙）

- ・「算数の授業の内容がよく分かる」「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と肯定的に回答した児童が全国平均を上回っている。
- ・「理科の勉強が好き」「理科の授業では、理科室で観察や実験を週1回以上行った」「観察や実験を行うことが好き」と肯定的に回答した児童が全国平均を上回っている。

（学校質問紙）

- ・前年度に比して、個に応じた指導や国語科、算数科、理科の指導法に改善の様子がみられる。
- ・家庭学習について大きな改善が見られる。